

## 令和6年度宮城県医師会事業計画

4年前から我が国を騒がせている新興感染症は『定着』し、流行、鎮静の波を繰り返している。海外に目を転じれば各地の戦争が混迷の度合いを深め、幾多の人命を危機に晒している。

さらに我が国では能登半島での地震津波が元日安寧の夢を破り、かつて震災を経験した我が宮城県も被災地の医療の援助をすべく医療援助チームを継続して派遣してきている。

このような中、今まさに日本経済は実態の危ういなか企業が5%前後の賃上げを雪崩を打って実行しつつある。しかしながら我が医療界は今季公定価格である診療報酬の0.88%の増加を獲得したに過ぎず、これを賃上げに回せと言われても、他業種との格差が広がるばかりなのは明らかである。

現今言われる働き方改革にしても、所管官庁が医療の質を担保してくれるわけではない。現場で働く医師に全てがかかっている。

以上の情勢を踏まえた来るべき年の活動については、真に医療界を代表する立場としてこの職種を防衛することに重きを置かざるを得ない。そのためには全ての医師の医師会加入を促し基盤を強化した上で、政策側に発言する場を確保しつつ、以下に述べる多岐にわたる活動を展開する所存である。

## 令和6年度活動計画項目

1. 医療基本問題とその検討
  - 1) 医療倫理の高揚と実践
  - 2) 国民皆保険の維持と医療への市場原理主義導入の阻止
  - 3) 医師育成機構の活動および医師不足及び偏在・医療崩壊への対応
  - 4) 個人情報保護法及び医療情報の開示への対応
  - 5) 医療事故調査等支援団体としての制度への対応
  - 6) 医事紛争対策の充実
  - 7) 医療安全対策と医療の質改善運動の普及
  
2. 医師の労働環境の改善と経営基盤の安定
  - 1) 医師の働き方改革に向けた医療環境の改善
  - 2) 医療従事者の安全確保対策の推進
  - 3) 有床診療所、小規模病院の経営基盤の健全化
  - 4) ダイバーシティー支援センター（旧女性医師支援センター）の拡充
  - 5) 医療関係職種との連携
  
3. 医師生涯教育の充実
  - 1) 新専門医制度への対応と県協議会への参画
  - 2) 生涯教育事業の改善および専門医制度との連携
  - 3) 医師臨床研修制度への参画
  - 4) 医学研究の奨励・助成
  
4. 地域の保健、医療、福祉活動の一体化
  - 1) 新型コロナウイルス（COVID-19）等感染症への対応
  - 2) 地域医療構想の実現に向けた地域医療構想調整会議の活性化
  - 3) 地域包括ケアシステムの構築と多職種協働、在宅医療の推進
  - 4) 大規模災害対策及び JMAT 宮城の強化
  - 5) 救急医療の充実・強化
  - 6) がんゲノム医療への参画、がん治療の均てん化、緩和ケア医療の充実
  - 7) がん登録の推進とデータ活用への協力
  - 8) 糖尿病を含む生活習慣病への対応

- 9) 母子保健・学校保健・産業保健・スポーツ医学等の充実
- 10) 労災・自賠責保険制度の運営協力
- 11) 宮城県医師会少子化対策検討委員会の活動推進、高齢化社会への対応
- 12) 自死対策をはじめとするメンタルヘルスケアの充実
- 13) 医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）の充実
- 14) 環境問題への取り組み
- 15) 医療のデジタルトランスフォーメーションへの対応
- 16) 宮城県地域医療学会の開催
- 17) 警察活動に協力する医師の組織化並びに死因究明向上への関与
- 18) 受動喫煙対策の推進

5. 医師会活動の基盤整備、組織強化

- 1) 医師会館・地域医療連携支援センターの運営
- 2) 公益社団法人としての各事業の効率化
- 3) 郡市医師会との連携
- 4) 宮城県医師会健康センター事業の充実と推進
- 5) 研修医、勤務医、新規開業医の医師会加入促進と勤務医委員会の充実
- 6) 医政活動および広報活動の充実、医学生との交流活動の推進
- 7) 宮城県医師会協同組合事業の推進
- 8) 宮城県地域医療情報センター事業の推進
- 9) 日本医師会と東北ブロック医師会及び郡市医師会活動への連携と協力
- 10) 適切な保険診療の推進と個別指導、監査への関与